

令和6年度 仙台市宮城野障害者福祉センター 在宅障害者・一般市民向け事業「防犯対策について」を開催しました

令和6年7月10日
仙台市宮城野障害者福祉センター

令和6年7月9日（火）に、「防犯対策について」を開催しました。

今回は、仙台市市民局市民生活課の中村正志氏を講師にお招きし、講義をしていただき、講義には障害当事者4名を含めて10名の方に参加をしていただきました。昨年に引き続き今年も防犯に関する情報収集などを基に作成していただいた資料を配布しながら、現実には被害に遭われた事例などの話を通して注意を促していました。

特殊詐欺の手口は多様で、年々増加しており、そのうち自動録音のガイダンスにて、海外からの生成AIのコンピューターの技術を使って、ダマシの手口も巧妙にアップグレードしています。「オレオレ詐欺」「架空料金詐欺」「還付金詐欺」「預貯金詐欺」「キャッシュカード詐欺盗」「サポート詐欺」「金融商品詐欺」「ギャンブル・フィッシング詐欺」など9つは予兆電話が多発しているためにしっかりと覚えておいた方が良く、とのお話がありました。防犯講座で学ぶ「万一の心得」防犯の備えあれば怖いものなしで、知らない電話や訪問などには「でない」「かけない」の対応を心がけたいと思います。

犯罪に巻き込まれないようにするためには、情報が大切であるとし、「みやぎ Security メール」という、犯罪の発生情報や犯罪に遭わないための情報を受け取るサービスの紹介がありました。登録は必要ですが、事前に知ることによって対処する心構えはでき、身の回りで起こった場合には落ち着いて対処できるものと考えます。

特殊詐欺の被害は後を絶たず、被害者や被害額は年々大きくなっている、と説明があり、被害に遭わないように準備は必要で、心構え一つで避けることが出来る為、引き続き防犯に関する講義を開催していきたいと思います。

